

もっしえー

2020

9

No.48



表紙
のことば

だだちゃ豆の収穫

真夏の早朝、鶴岡市白山のほ場では、特産「だだちゃ豆」の収穫作業が行われていました。機械化が進み、様々工夫を凝らしていますが、鮮度保持のため連日夜が明ける前から作業を始め、朝露で全身を濡らしながらの大変な作業です。

この地で百年以上前に創選された「だだちゃ豆」は、それぞれの農家が代々大切に守り伝え、その芳醇な味わいで、今や全国的に知られる味になりました。これからも貴重な鶴岡の在来作物として、大切に受け継がれていきます。

(吉住喜之推進委員)





農業の安全確保や支援策等 に関する要望書を市長へ提 出しました

7月7日、渡部会長はじめ
四役が皆川市長を訪問し、以
下の3つの要望書を提出しま
した。

▼SEADSの運営に関する 要望書

雇用を生み出す大規模な企
業的経営者の育成、学生と地
域との交流、地元での雇用就
農の推奨について

▼農作業の事故防止等に関す る要望書

事故の典型的事例の周知、
農作業用機械の技術習得機会・
資格取得のための助成制度の
創設について

▼新型コロナウイルス影響対 応に係る農業支援策に関する 要望書

支援策の周知、農畜産物の
需要回復につながる需要喚起
策の構築について

市長からは、SEADSに
ついて、様々な分野から講師
を起用し、経営感覚に優れた
担い手の育成に力を入れてい
ることなどの話があり、農業
の安全確保については、公開
講座で農作業用機械の事故防止
策や専門家による指導が可能
かどうか今後検討していきたい
との考えが示されました。
また、各種支援策については、
必要な方に漏れなく情報が届
くようにJAと連携して周知
を図り、農畜産物の購入支援
活動等、できる限りの応援を
していくとのことでした。

農業委員会では、今後も現
場の生の声を関係機関へ伝え
ていきます。



農地利用最適化推進委員を募集します

鶴岡市農地利用最適化推進委員の次期委嘱（令和2年11月）に向け委員を募集します。

**募集
期間**

令和2年9月14日(月)～令和2年10月9日(金) **必着**

任期

3年（令和2年11月26日～令和5年11月25日）

**応募
方法**

「団体・農業者等からの推薦」と「自ら応募」の2種類の方法があります。
推薦、応募をされる方は、所定の様式に必要事項を記入の上、令和2年10月9日
(金)まで、鶴岡市農業委員会事務局（藤島庁舎2階）又は各分室へ所定の書類を
提出してください。推薦・応募の方法の詳細については、「募集要項」をご覧ください。
募集要項は、9月1日から、農業委員会事務局又は各分室で配布できます。また、
市のホームページ（<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>）でもご覧いただけます。

募集内容

募集人数 31人（担当地区があります）
報酬 40,000円/月
主な業務 農地の利用調整、利用状況の調査等を行います。
要件 農地利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、業務を適切に行うことのできる者



※推薦・応募の中間状況、最終結果につ
いては、市のホームページで公表します。
推薦・応募のあった候補者の中から上
記人数を選考します。その選考結果に
ついては11月上旬に通知します。
詳しい内容については鶴岡市農業委員
会事務局へお気軽にお問い合わせくだ
さい。



羽黒地域の猪俣新田に住む五十嵐孝章さんは、お父さんと共に、水稲10畝の作付けと、庄内柿1畝を手掛けています。

加入しています

農 業 者 年 金

羽黒 猪俣新田
五十嵐 孝章さん
(30歳)



農業者年金については、なんとなく知ってはいたものの、最初はあまり興味がなかったそうです。しかし、地元の農業委員から「積み立て方式で安定しているし、保険料の国庫補助も受けることができる。また、確定申告の時、保険料が全額控除になるから」と強



専門学校卒業後、平成23年に就農し、お父さんのもとで農業技術を習得しながら、庄内柿の集団防除やヘリ防除のオペレーターとして地域に貢献しています。2年前から冬期間は庄内柿の剪定班に入り、技術を磨きながら伝統の技の継承に努めています。



(金野匠良推進委員)



く勧められ、国民年金だけでは将来不安だったし、補助があるうちに加入できて良かったと話してくれました。休日は趣味のバイクやフィッシングで息抜きをして、仕事へのモチベーションを高めているという五十嵐さん。今後は、新しい技術や機械を導入することで自動化や省力化を図り、様々な品種の水稲栽培にチャレンジしたいとのことでした。これからも地域の担い手として活躍してほしいと思います。

樹園地でお困りの方は いませんか？



伐採する前にはまずご相談ください！
詳しくは、農業委員会櫛引分室
TEL57-2114 (内線 271) まで。

こんな農地を見かけたら 農業委員会へ お知らせください！

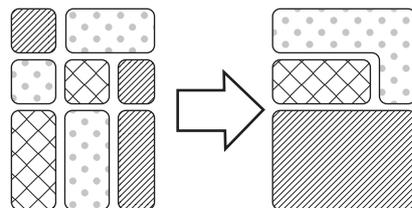
農業委員会では、荒廃農地や違反転用箇所の把握のため、毎年「農地利用状況調査」を実施しています。

- ・草が生い茂り害虫の発生が心配
- ・歩行や通行の妨げになる
- ・動物が住み着いている
- ・ゴミの不法投棄

こんな農地を見かけたらお知らせください。地元の委員が現地を確認し、解決策を考えます。また、農地を農地以外のものにする時は、必ず農業委員会の許可が必要ですのでご注意ください。

耕作者の
みなさん

分散したほ場に 困っていませんか？

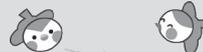


農業委員会では、担い手間の話し合いを通じた耕作地の交換を積極的に進めています。話し合いには地元の農業委員・農地利用最適化推進委員も同席します。交換が成立したら所有者の同意をもらい、農地の権利移動の手続きを行います。分散した農地の解消を図りたいと考えている担い手のみなさん、まずは農業委員会へご相談ください。

藤島の八栄島地区で「耕作地の交換」が行われました！

農地集約モデル事業として藤島地域で情報交換会を開催し3年が経過しました。当時、自分も推進委員になったばかりで、面白い取り組みが始まったなと思っていましたが、まだ広まったといえる状況ではありません。

離農の相談を受け、耕作してくれそうな人が見つかったも、「ほ場が遠くて回りきれない、あそこは土地が悪い」など、マッチングするのに苦労しているのが現実です。近年、離農する人が増え、1経営体が担う面積が増えている中で、点在したほ場が多いと作業効率が悪いため、実際「耕作地の交換」をしてみたいと考える担い手は少なくありません。委託する人、耕作する人、耕作者同士が理解し合い、地域農業を共に良くしていけるよう、地元の委員に気軽に声をかけていただき、農地の集約化に協力していただけると幸いです。(石井光明推進委員)



農業法人「田和楽」
奥山 康光さん

点々としていた耕作地をなんとかしたいと以前から思っていたので、所有者の方々からご理解いただき話がまとまって良かったです。機械の移動に時間が取られないので仕事の効率が全然違います。

耕作地の交換が実現した方のお話

ほ場条件が違う場所もありましたが、団地になっている方が肥料設計も変えられますし、それなりの管理ができます。作業が断然楽になったのでメリットの方が大きいですね。



農業法人「米の里」
斎藤 弘之さん

庄内の農地を
みんなで守りましょう！

中間管理
事業をご利用
ください

農地中間管理機構に農地を貸し付けた場合、要件を満たせば**協力金**が交付されます

(1) 経営転換協力金 ~個々の農家に対する支援~

機構に農地を貸し付けることにより、農業部門の減少により経営転換する方、リタイアする方、農地の相続人で農業経営を行わない方

2019~21年度 1.5万円/10a(上限額50万円/1戸)

2022・23年度 1.0万円/10a(上限額25万円/1戸)

(2) 地域集積協力金 ~地域に対する支援~

①集積・集約化タイプ

地域内の農地を機構に貸し付け、担い手への農地集積・集約化を図る場合に交付されます。

機構の活用率により、1.0~2.8万円/10a

②集約化タイプ

地域内の農地を機構に貸し付け、担い手同士による耕作地の交換等で農地の集約化を図る場合に交付されます。

機構の活用率により、0.5~1.0万円/10a

貸付期間や集積・集約割合等その他要件あります。詳細はお問い合わせください。

SEADSに いってきました

旧いこいの村庄内の跡地に、今年4月、鶴岡市立農業経営者育成学校SEADSが開校しました。“研修終了後、鶴岡市で就農する意志があること”が応募要件の一つとなっており、地域農業の担い手を育成する拠点施設として、農業委員会としても大いに期待しているところです。今回は、そんな今話題のSEADSで研修生3人にお話を聞きました。



大塚さん実践研修ではミニトマトをメインに、米やベビー

— どのような研修があるので
すか？

大塚さん以前より農業に興味があり、栽培技術や経営を学べるSEADSで一から勉強しようと思いました。

— なぜ農業をやるうと思った
のですか？

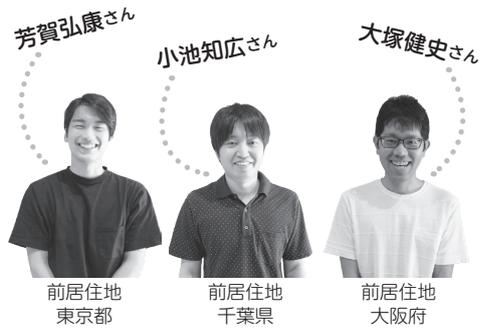
大塚さん自分で作ったものを売って、直接購入者から生の声が聞けることに魅力を感じました。

— 今後の学んでみたいことは？

大塚さん枝豆を実際に栽培してみたいです。新規就農にあたっての資金計算や経営術も学びたいですね。

— 将来どのような経営を目指
しますか？

大塚さん前職がIT関連でしたので、その技術や知識を用いてスマート農業を取り入れた経営をしたいです。



研修生への突撃インタビュー!!

— 余暇は何をしていますか？

大塚さん週末は農家インターンという形でアルバイトに行っています。作物によって栽培方法や作業内容が異なるので勉強になります。たまにドライブやウォーキングもしています。

— 鶴岡市の農業をどのように担
っていきたいですか？

大塚さん年々農業をやる人が減っていくので、若い人が自分でもできるかも？と思ってもらえるような取り組みを行い、鶴岡市の農業をより発展させたいです。

— 小池さん適地適作が重要と学
んだので、その土地に合った、消費者の需要のある作物を栽培・販売することで、安定した経営がしたいと思っています。

— 芳賀さん自分たちだけでなく、
地域社会にも貢献できるように経営を目指します。

— 芳賀さん耕作放棄地や後継者
がいない土地で農業を行うことで、次世代へ価値あるものを残していきたいと考えています。

— しっかりとした目標を持ち意
欲的に学ぶ研修生の姿に、「おらほのこれからの農業は明るい」と感じました。SEADSの卒業生たちが将来、地域農業のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

— 小池さん家庭菜園で野菜の世
話をしたり、地元の農家さん

— 小池さん鶴岡の農業従事者と
して地元根差した農家にな



有機農業を中心に経営に必要な全てを学ぶ2年制の学校。全国から研修生を集め、将来の担い手の育成・確保を目指している。市と関係機関が連携し、就農準備から経営のノウハウまでを一貫して支援する。現在第2期生募集中。詳細はSEADSウェブサイト (<https://tsuruoka-seads.com/>)。



新規就農者の
みなさん!

農地の確保を サポートします!

これから農業を始めようとする方にとって、農地の確保は大きなハードルです。農業委員会では、農地の借り受けを希望する新規就農者に、あらかじめ登録してある支援農業者を仲介する「アグリランドバンク」事業を行っています。

支援内容、条件など詳しくは農業委員会へご相談ください。

農地の貸付けに協力してくださる
支援農業者・団体（8月末現在、敬称略）

- (有)鶴岡協同ファーム(鶴岡・民田)
- (株)アシスト(鶴岡・本田)
- (有)田和楽(藤島・小中島)
- 上新田農事組合法人(藤島・長沼)
- 井上農場 代表 井上 馨(藤島・渡前)
- (株)ハグロファーム(羽黒・川代)
- (農)あさひの輝き・まんてん(朝日・東岩本)
- (株)あつみ農地保全組合(温海・湯温海)



こんな
メンバーで
作っています

『もっしえの〜』が全国コンクールで特別賞受賞

全国農業会議所・全国農業新聞が主催する第26回農業委員会だより全国コンクールで、本市農委広報が「全国農業新聞特別賞」を受賞しました。取材にご協力いただいた方、ご愛読いただいている皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。今後も農家の皆さんの身近な情報誌として、わかりやすく親しみやすい広報を目指していきます。

(太田裕徳編集委員長)



6月26日、渡部会長が表彰状を受け取りました。

全国農業 新聞

農業・農政の動きを週1回タイムリーにお届け! 経営と暮らしに役立つ情報満載! 身近な話題も地方版で!

- ▶ 毎週金曜日発行
- ▶ 月額 700 円 (税込)
- ▶ 申込みは農業委員会へ

あとがき

実りの秋を迎え、本来ならば心躍るところですが、今年はコロナウイルスの感染拡大や豪雨災害により経済活動が低迷し、その影響は長期化を呈しています。コロナウイルスと気候変動が重なると一体どうなるのでしょうか? 日々の農作業を粛々と進めながらも、「鶴岡市の農業」が持続的で力強く在り続けるために、今一度考える時期が来たのではないのでしょうか。

(金野匡良推進委員)



鶴岡の棚田 -朝日・大網-

山あいの傾斜地に階段状に作られた棚田。いつまでも守っていききたい農村の原風景です。

市内には、「やまがたの棚田20選」に認定されている美しい棚田が4か所あります(櫛引/梳代、朝日/大網、温海/暮坪・越沢)。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

TSURUOKA TANADA PHOTO

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) ☎64-5868・64-5860(直) FAX.64-5846

○鶴岡分室 25-2111(代) ○羽黒分室 62-2527 ○櫛引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouuinaki/index.html>